

平成30年度 事業報告

1.事業の概要

日本の高齢者の就労意欲は高く、国際的にも際立っているとされている中、全国シルバー人材センター事業協会の掲げる「第二次会員100万人達成計画」に基づき、山武市シルバーとしても会員獲得に向けて様々な事業活動を展開したが、残念ながら会員増は微増であり、さらなる会員獲得計画を推進していく必要性が感じられた。

多くの会員が入会することに対応していくために、就業の幅を拡げる必要性があり、そのために介護予防・日常生活支援総合事業に着手し、9月には山武市から事業者指定を受け、支える側の高齢者としても活動ができる体制を整備した。これにより、シルバーに対するイメージも少しは変化し、新たな会員層の獲得にも役立ったことだと考えられる。これには、就業開拓員が公共施設でのリーフレットの設置や、事業所等でのポスター掲示等をしたことも効果的であったと思われる。

市内の高齢者の増加と同様にシルバー会員の高齢化もすすみ、体調の不良や家族の介護が必要で就業が難しくなってしまった会員を、引き続き会員として登録できるようプラチナ会員制度の導入を平成31年度から実施するよう整備をすすめた。

安全就業については、安全委員会を中心に事故ゼロを目標に安全な就業につながる活動を実施した。その一つとして、安全の大切さをわかりやすく説明するために、安全委員が中心となり安全劇で安全就業を表現し、安全意識の高揚に役立てることができた。交通安全についても実車教習や運転適性筆記検査を行い、自分の運転能力を把握することで安全運転に役立ててもらおうよう実施した。しかし、残念ながら傷害事故2件・物損事故3件の事故が発生した。

すみれサークルやいきいきクラブの活動も、リーダーを中心に会員親睦を目的に積極的な活動をすすめることが出来た。このように、多くの会員が共働・共助の基本理念のもと、個が主体となる自主・自立の活動が実践され、仲間意識を大切に多くの事業活動を展開することができ、事業実績にもその結果が反映される1年となった。

そこで、この1年の事業実績を次のとおり報告する。

会 員 数 正 会 員 3 8 6 人

(男性 2 5 6 人・女性 1 3 0 人)

特別会員 1 人

賛助会員 2 団体・7 人

事 業 実 績

	受託事業	派遣事業
受注件数	3, 1 8 0 件	9 件
契約金額	2 億 1, 0 0 3 万円	6 7 7 万円
就業延人日	4 1, 3 0 9 人日	1, 6 6 2 人日
就業実人員	4 0 3 人	2 6 人
就業率	1 0 4. 4 %	
事故報告	傷害事故 2 件 物損事故 3 件	物損事故 1 件

確認は 安全作業の まず一歩

2.事業の報告

(1) 自主・自立、共働・共助の理念の実践

入会説明会では基本理念について説明し理解を得てもらい、更新説明会では基本理念の実践を確認した。

グループ就業やワークシェアリングについても、説明した。

各種委員会活動については、委員長を中心にその時々話題を議題として取り上げ、委員会で協議を実施した。

【職群班活動】

植木班（2地区6班）、草刈（3地区7班）、軽作業12班

班員のとりまとめ、発注者・事務局との連絡調整等

【地域班活動】

成東（3地区9班）、山武（1地区6班）、松尾蓮沼（2地区6班）

配布物6回お届け、ボランティア活動及び地区班懇談会の協力

【独自事業活動報告】

	すみれサークル	いきいきクラブ
就業実人員	15人	37人
就業人日	205人日	206人日
収入実績	244,670円	465,680円
活動内容	手差し、クラフト帽子、 タオルワンちゃん・ニット帽子等作成と販売	ジャガイモ、サツマイモ、 落花生、大根等の栽培及び 収穫と販売

【更新説明会参加状況】

	成東	山武	松尾蓮沼
実施日	2月6日	2月16日	3月11日
場 所	のぎくプラザ	さんぶの森	松尾 IT 保健福祉センター
参加者	140人	105人	138人

(2) 安全就業の徹底

新規発注者にはシルバー事業の紹介を行い理解してもらったうえで、高齢者の就業としてふさわしい就業機会の提供に努めた。

定期的に発行する安全だよりにて、交通安全の呼びかけを実施した。

安全委員会を定期的に開催し、会員の安全確保に必要な安全講習会の

開催や、安全就業に関する情報を発信した。

多発する高齢者の運転による事故を背景に、不法投棄パトロールの会員を対象として、筆記による運転適性検査や実車講習等を行い、自身の交通安全への姿勢を知ることによって日頃の運転に役立ててもらえるよう、松尾教習所及び山武交通安全協会の協力により実施した。

【安全講習会】

草刈講習会：3地区で開催 植木講習会：2地区で開催
安全講習会：消防署救急隊員による心肺蘇生とAED操作方法の講習
運転適性検査：松尾教習所による筆記と実技（運転実技）
山武安全協会による筆記

【安全就業先パトロール】

市内18ヵ所 委員会・役職員により実施

【安全だより】

5月、9月、1月に発行

【事故報告】

	傷害事故	物損事故
事故件数	2件	3件
保険支払金額	204,000円	143,150円

(3) 適正就業の励行

新規の発注者には、適正就業ガイドラインを使用してシルバーの就業について説明した。また、定期就業先についても、業務係による就業内容の確認と、適正就業についての説明を実施した。

【派遣就業報告】

派遣就業	9件
就業内容	運転業務、事務、食器洗い、植木、草刈等
就業実人員	26人
就業延人日	1,662人日
契約金額	6,770,904円

【有料職業紹介】 実績なし

(4) 会員の増強と資質の向上

会員募集のチラシを利用し、新規就業開拓員や会員による新規入会会員獲得に役立てた。

就業に役立つよう、清掃講習会や接遇講習会を開催した。
職群班長制度を利用し、熟練者による後継者の育成に努めた。
会員親睦のために多くの親睦交流活動を実施した。

【会員状況報告】

	成東	山武	松尾	蓮沼
入会	22	19	12	5
退会	19	21	9	4
会員数	170	122	70	24

【入会説明会参加者報告】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
参加者	10人	1人	7人	4人	5人	7人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加者	6人	3人	4人	3人	5人	12人

(5) 運営体制の充実

新総合事業や職群班の育成を目的として、役職員による佐倉市シルバー人材センターへの視察研修を実施した。

介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けた社会福祉協議会主催のマッチングに参加し、就業会員の獲得に役立てた。担当者による、定期的な包括支援センターへ訪問し早期の就業を獲得できるよう働きかけを実施した。新規事業となることから、関係機関との連携を図り早期就業に努めた。

会長及び副会長と職員による定例会議を毎月開催し、情報の共有に努め円滑な事業運営に努めた。

必要に応じ、外部団体の主催による研修会等に参加し、知識見聞を広める事に努めた。

(6) 就業機会の確保と拡充

高齢者にふさわしい就業機会の確保を、就業開拓員が中心となり実施した。

既存事業所に対しては、役職員で訪問し会員の就業機会の獲得に努めた。

【就業開拓員活動報告】

就業開拓員	2名
就業日数	104日

(7) 地域貢献・ボランティア活動の推進

まちの便利屋さんとして、地域社会に浸透することを目的に、公共事業所で草取等のボランティア活動を実施した。

地域社会への貢献として、まつおこども園の年長児を対象に、工作教室と昔遊び教室をおこなった。

【ボランティア活動報告】

	松尾地区	山武地区	成東地区	蓮沼地区
月 日	5月23日	6月4日	6月6日	6月8日
場 所	松尾中学校	山武福祉作業所他	しらはたこども園	蓮沼区流センター
内 容	草取	植木草刈草取	植木草刈草取	草取
参加者	21人	47人	55人	15人

(8) 普及啓発活動の実施

全国シルバー人材センターの日に併せて、10月を促進月間とし、多くの事業を開催した。

手芸教室では、東金市シルバーの女性会員も参加し、こちらの様子は市役所の広報誌に掲載された。

シルバー事業の宣伝として、市広報誌「市民記者が行く」でシルバーを取材してもらい、山武市民にPRを実施できた。また、山武市社会福祉協議会の協力により、会員募集の案内を「きずな新春号」に掲載を行ってもらえた。

【きらきらシルバークフェア開催報告】

開催期間 10月23日から26日

開催場所 成東中央公民館

開催内容 会員作品展、手芸教室、接遇講習会、出張入会説明会

確認は 安全作業の まず一歩